ボルネード 製品保証書

型　　名	ボルネード加湿器 HM4.0-JP	
お 客 様	ご住所〒　　TEL：	
	お名前　　様	
保証期間	お買い上げ日より **1年間**	お買い上げ年月日　　年　月　日
販 売 店		

米国ボルネード社日本総代理店　株式会社エヌエフ貿易
〒176-0024　東京都練馬区中村3-38-8
TEL：0120-390-747/FAX：0120-390-748

本書は当社経由で輸入し、販売した VORNADO AIR, LLC の製品につき、本書記載の内容で無料修理またはお取り替えを行うことをお約束するものです。

1．取扱説明書、本体添付ラベルの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、下記までご連絡ください。
2．次のような場合は、保証期間内でも修理が有料となります。
　1）使用上の誤り、過度の高温、高湿度、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷。
　2）お買上げ後の落下や引っ越しなどによる故障および損傷。
　3）地震、火災、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
　4）本書のご提示がない場合
　5）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書換えられた場合。
　6）業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の事故および損傷。
3．製品改善のため、モデルチェンジまたは製造取りやめをご購入者に連絡なしに行うことがあります。その場合は同じような部品または製品で代替えさせていただきます。
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid in Japan only.

修理のご依頼や取扱方法に関するご質問等は、下記までお願いします。

TEL：0120-390-747

http://www.vornado.jp

※米国 VORNADO 社の日本での製品呼称を、ボルナドからボルネードに統一致しました。

Vornado Humidifier HM4.0-JP
Owner's Guide

ボルネード
気化式加湿器

形名　HM4.0-JP

取扱説明書
〈保証書付〉

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使い下さい。
■特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
■この取扱説明書は巻末に保証書が添付されています。大切に保管してください。

もくじ

・安全上のご注意
・ボルネード加湿器の特徴
・各部の名称
・お使いになる前の準備
　水漏れテスト
　フィルターの取り付け
　設置場所の確認
　タンクの給水と取り付け
・操作方法
・お手入れ方法
　本体のお手入れ方法
　フィルターのお手入れ方法
　フィルターの交換・注文方法
　保管のしかた
・故障・異常の見分け方
・製品仕様
・保証書

VORNADO

CL3-0133 RevA

▷安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。ここでは、⚠警告と⚠注意に区分して説明します。

⚠警告	この欄は、誤った取扱いをした時に、死亡や重傷など、致命的な結果に結びつく可能性が大きいものをまとめたものです。
⚠注意	この欄は、情況によって傷害を受けたり、物的傷害の発生が想定されるものをまとめたものです。

⚠警告

禁止

風を体に直接当てない。

非常に強力な竜巻状の風ですので、急速に体の熱を奪い体調悪化や健康障害の原因になります。特に小さなお子様やお年寄りの睡眠中に、風が直接体に当たらないようにしてください。また、動植物にも当てないで下さい。

禁止

カバーや吸い込み口に指や棒などを入れない。

内部のプロペラは高速回転しているため大けがの原因になります。小さなお子様がいる場合は必ず保護者の監督のもと、事故がおこらないよう注意してください。

禁止

取扱いに不慣れな方や子供のみでは使用しない。

吹出口に指をいれる等、誤った取扱いをすると、感電やケガの原因となることがあります。

禁止

パワーヘッドに水をかけたり、パワーヘッド本体を水につけたりしない。

モーター部には防水機能はありません。ショート・感電の原因となることがあります。

禁止

他の速度調節器と併用して使用しない。

火災、感電の原因になります。

禁止

改造や分解はしない。

発火したり、異常作動してケガをします。

警告

異常時にはファンを切り、電源プラグをすぐ抜く。

モーター音の異常、異臭、煙がでた場合はすぐスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。そのまま使い続けると故障や感電、火災などの原因になります。

強制

電源の入／切の操作は本体についているスイッチで行う。

コンセントの抜き差しで行うと故障の原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない。

中の水がこぼれ、ショート・感電の原因となることがあります。障害物のない平らな床の上で使用してください。

⚠注意

禁止

交流100V（AC100V）以外の電源は使わない。

故障や感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

長時間使用しない時には必ず電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁老化による感電や漏電火災の原因になります。

禁止

コンセントから電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張って抜かない。

芯線の一部が断線し、発熱や火災の原因になることがあります。まず本体のスイッチを切り、電源プラグを持って抜いてください。

強制

電源コードの取扱いに注意する。

電源コードを加工したり、折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、絨毯や重い物の下を這わせたり、熱器具に近づけたりしないで下さい。コードが破損し、発熱や火災の原因になることがあります。

強制

電源プラグは確実に差し込む。

電源プラグは爪の根元まで確実に差し込んでください。電源プラグの不完全な接続やそこに溜まったホコリは、感電や火災の原因になります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

強制

加湿器を12時間以上使用しない場合は必ず内部の水を抜く。

フィルターにカビが繁殖し、悪臭、健康障害の原因になります。

禁止

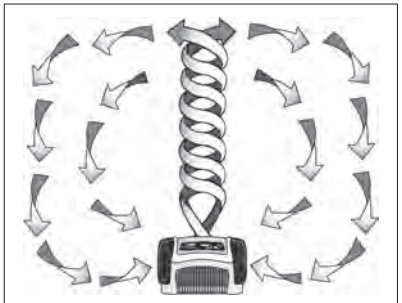
運転中は移動させない。

ケガの原因になります。移動させる場合にはスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、タンクを外してから行ってください。

強制	フィルターの交換、お手入れをするときは、スイッチを切り、電源プラグを抜く。 ケガの原因となることがあります。
強制	湿度が60%をこえた場合は、使用しない。 加湿しすぎると、カビ等の発生の原因になります。
強制	タンクの水は水道水(お湯は厳禁)を使い、定期的に掃除する。 長い間お手入れをしないと、カビや雑菌が発生し、加湿機能低下の原因になります。

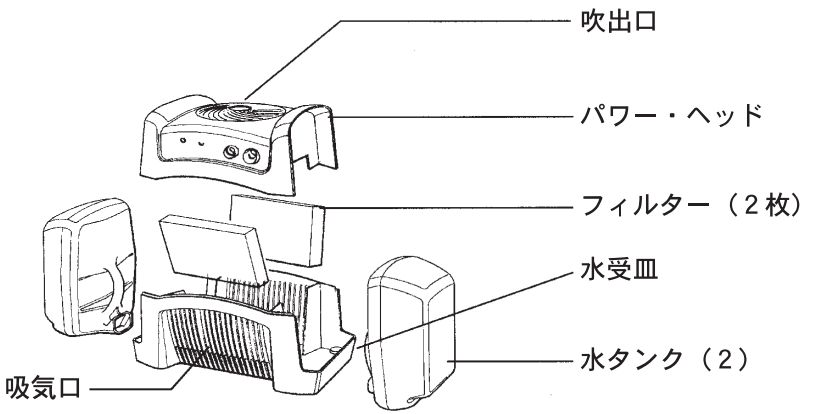
▷ ボルネード加湿器の特徴

- サーキュレーターのトップメーカーであるボルネード社が得意とする空気循環機能により、加湿された空気を部屋の隅々まで運びます。
- 暖房時に生じる部屋の上下の温度差を解消します。
- フィルターは水道水に含まれている不純物の他、空気中のホコリやチリ等もろ過し、室内の空気を清潔に保ちます。
- 大型タンクを二つ備えているため、一回の給水で約24時間連続使用が可能です。タンクは一体成形で気密構造のため、水漏れの心配も無く、取っ手も付いているので大型でも給水が手軽にできます。
- シンプルな構造のため、故障しにくく安心してお使いいただけます。



竜巻状の風で部屋全体を隅々まで加湿します。

▷ 各部の名称



▷ お使いになる前の準備

水漏れテスト

●製品には万全を期していますが、運送途中の取扱い方等によって製品が損傷する場合もあります。万一に備えて、本体とタンクの水漏れテストを行ってください。

パワーヘッドを真上に持ち上げてフィルターを外し、水受皿に下から2cm程度まで水を入れて、水漏れしていないか確認してください。

タンクに給水し、取っ手のある面を上にして置き、水漏れしていないか確認してください。

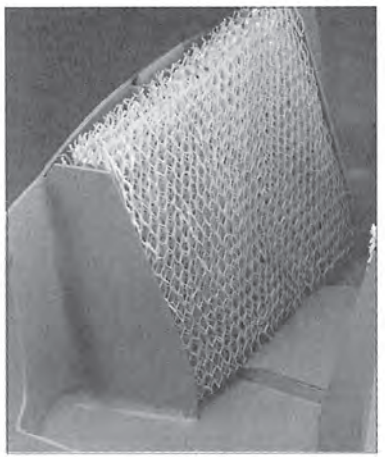
●万一水漏れ等の問題がある場合には、0120-390-747までご連絡ください。すぐに交換させていただきます。

フィルターの取り付け

本体にはフィルターが2枚セットされていますが、運送途中でずれる可能性があります。所定の場所にセットされているかどうかご確認ください。

フィルターは2か所の吸気口の内側にそれぞれ1枚ずつ立てかけるようにしてセットします。

（フィルターには上下、表裏はありません。）



設置場所の確認

本体は水平な床の上に置きます。空気の流れが遮られることのない場所を選んでください。

給水したタンクをセットすると本体が非常に重くなり移動できなくなりますので、給水前に置く場所を決めることをお勧めします。

壁の近くに設置する場合には、吸気口を壁から10cm以上離すようにしてください。

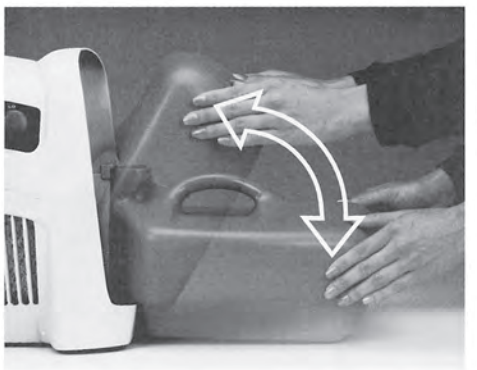
タンクの給水と取り付け

⚠ 注意

●絶対に吹出口から給水しないでください。故障の原因となります。

●タンクにお湯を入れないでください。水あかやバクテリア発生の原因となります。

1. タンクを倒して本体から取り外し【図A】、水道水を給水してください【図B】。タンクの口ぎりぎりまで給水可能です。ただし、タンクを運ぶ際には水がこぼれないよう気をつけてください。
2. タンクの取っ手のない面を下にして置き、取り外し時と反対の要領でタンクを持ち上げてください【図A】。タンクが所定の場所にセットされると水受皿に水が入り、一定の水位に達すると自動的に止まります。タンクを持ち上げる時に動作を度々止めると水受皿から水があふれてしまいます。途中で止めずに一気に持ち上げセットしてください。



図A

図B

▷ 操作方法

コントロールパネル

1. 風量調節スイッチがOFFになっていることを確認のうえ、電源コードをコンセントに差し込んでください。

2. 湿度調節スイッチをMAXに設定してください。

3. 風量調節スイッチを回し、風量（HI/MED/LO）を選択してください。電源ランプがつきます。
   ■ HI　（強）　：広い空間の加湿や急速に加湿したい場合
   ■ MED（中）　：通常運転
   ■ LO　（弱）　：狭い空間の加湿や就寝中の運転。運転音が静か

4. この加湿器は本体内の湿度センサーにより、自動的に湿度の調節を行います。室内がお好みの湿度に達したら、湿度調節スイッチをゆっくり反時計回りに回してください。カチッと音がして、ファンが停止します。音がした位置がお好みの湿度を示します。これで本体内の湿度センサーが作動し始め、室温と湿度に合わせファンが自動的に作動したり、停止したりします。ファンが停止中でもランプは点灯していますが、故障ではありません。
   ＜注意＞■MAX（最大）に設定した場合：湿度に関係なく、ファンは常に回転しています。
   ■MIN（最小）に設定した場合：湿度に関係なく、ファンは回転しません。
   ■湿度が60～70%に達した場合：風量調節スイッチをOFFにしてください。
   （加湿しすぎると、カビ発生の原因となります。）

5. 使用後は、風量調節スイッチをOFF（電源ランプが消える）にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

メ　モ

●この加湿器は気化式で、超音波式や蒸気式ではないため、気化する水蒸気は目に見えません。
●室温と湿度の関係
この加湿器は空気そのものを直接加湿する気化式を採用しています。気化される水蒸気の量は室温に左右されます。

温　度	空気中に含むことのできる水蒸気量	タンクの水の量	湿　度
高　い	多　い	減りが早い	上がりやすい
低　い	少ない	なかなか減らない	上がりにくい

●時々、「ボコボコ」や「トントン」という音がすることがあります。これはタンクの水が水受皿に流れる音で、異常ではありません。
●片方のタンクの水がなくなってから、もう一つのタンクの水が減り始めます。空になったタンクに給水する時は、もう一方のタンクを空のタンクがあった場所に移動させます。こうすることで、先に給水したタンクの水が先になくなります。

▷ お手入れ方法

⚠ 注意

●本体の内側、フィルターやタンクが汚れていると、加湿能力が低下するだけでなく、カビ、水アカが発生します。こまめにお手入れをして、清潔にお使いください。

●パワーヘッドに水をかけないでください。防水機能はありません。

●研磨剤、ベンジン、シンナーやアルコールをお手入れに使用しないでください。

本体のお手入れ方法

日常のお手入れ

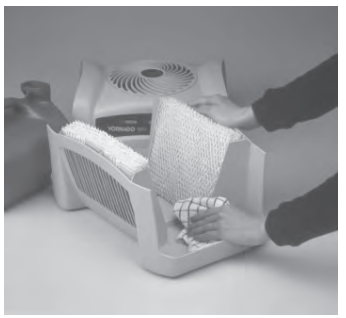
1. 風量スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. パワーヘッド、タンク、フィルターを本体から外してください。
3. 本体の水受皿とタンクを空にし、水道水できれいにすすいでください。
4. パワーヘッドのホコリは、はたきをかけるか、掃除機で吸い取ってください。
   エアーダスターもお使いになれます。

水アカなどが付着した場合

1. 水道水1ℓに対し酢大さじ4杯（60cc）の割合で酢水を作ります。
2. 本体の水受皿に酢水を注ぎ、数分間置いてからよくすすぎます。
3. タンクの4分の3の位置まで酢水を入れ、手で口をふさぎ、タンクを振ります。数分間置いてから、よくすすぎます。
4. 本体の内側をやわらかいスポンジか布でよくふいてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液をお使いください。

定期的な消毒方法

1. 漂白剤を薄めた液を作ります。水1ℓに対し、漂白剤1ccを入れます。
2. 本体の水受皿に漂白剤液を注ぎ、20分間放置してからよくすすぎます。
3. タンクの4分の3の位置まで漂白剤液を入れ、時々かき混ぜながら20分間放置します。
4. 漂白剤の臭いが消えるまで本体とタンクをよくすすいでください。



フィルターのお手入れ方法

フィルターは水道水の不純物や空気中のチリ・ホコリを取り除くため、使用している間に汚れて変色してきます。また、上部が固くなり水を吸収しなくなります。その際は、次の方法でお手入れしてください。

フィルターが入る大きさの容器に水を注ぎ、その中にフィルターを入れます。小さじ2杯のお酢を加え20分たったらフィルターを取り出して、すすぎます。押し洗い、こすり洗いはしないでください。余分な水を振って落とし（絞らないこと）、濡れたままの状態で加湿器にセットします。最初はお酢の臭いが残ることもありますが、使用している間に臭いは消えます。

井戸水、硬水を使用するとフィルターの寿命が短くなりますので、ご注意ください。

加湿器を水が入ったままの状態で12時間以上運転せずに放置すると、フィルターにカビが生えることがあります。その際は、10ページの方法で本体を消毒し、フィルターを新品と交換してください。

フィルターの交換・注文方法

上記の方法でお手入れしてもフィルターが柔らかくならない（付着した汚れでフィルターが固くなり、水分を吸い上げなくなった状態）時は、フィルターを交換してください。

使用状況や水質にもよりますが、4～8週間毎の交換が目安です。

フィルターは消耗品ですので、保証の対象外となります。

■フィルターの注文方法について

下記まではがき、FAXまたは、インターネットにてご注文ください。

株式会社 **エヌエフ貿易**	**〒176-0024　東京都練馬区中村3-38-8** **FAX：0120-390-748** **http：//www.vornado.jp/**

フィルター代金：１箱（２枚入り）¥2100（税込み）

（予告なしに価格を改定する場合もありますので、ご了承ください。）

保管のしかた

1. 保管する前にお手入れをしてください。
2. フィルターを外し、処分します。
3. タンクや水受皿の水を捨ててください。陰干しし、完全に乾いていることを確認します。
4. 箱にしまい、湿気の少ない、涼しい場所に保管してください。

▷ 故障・異常の見分け方 ―修理を依頼する前に―

症　状	原　因・対処法
白い蒸気が見えない	気化式加湿器は空気を直接加湿するため、蒸気は見えません。吹出口の上に手をかざすと冷たい湿った空気を感じます。
時々、「ボコボコ」や「トントン」という音がする。	タンクの水が水受皿に流れている音です。異常ではありません。
ファンが作動しない。	湿度センサーを低く設定していませんか？ 湿度調節スイッチをMAXに設定してください。
タンクの水が減らない。 湿度が上がらない。	フィルターを触ってみてください。しっとりと湿っていますか？ 湿っていなければ、フィルターのお手入れか交換が必要です。
片方のタンクの水しか減らない。	タンクの水は片方ずつなくなるように設計されていますので、問題はありません。片方のタンクが空になった時点で水を補給する場合は、タンクを左右逆に設置しなおしてください。

▷ 製品仕様

型式	ボルネード加湿器HM4.0-JP					
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz					
定格消費電力	50Hz			60Hz		
	強	中	弱	強	中	弱
	34W	24W	12W	29W	20W	11W
外形寸法	幅51cm×奥行29cm×高さ34cm					
重量（タンク空の状態）	3.8kg					
重量（タンク満杯の状態）	19kg					
容量	7.6リットル×２					
連続加湿時間	24時間～72時間（室内の湿度、ファンの設定等によって異なります）					
適用畳数	12～56畳					
コード長	2.2m					

MEMO

MEMO

ご注意（必ずお読みください）

サーキュレーターはプロペラを外してお掃除が可能ですが、加湿器は配線などの構造上、分解してお掃除するようには設計されておりません。そのため、プロペラを外してしまうと不具合の原因になる事があります。

お掃除の際には、絶対プロペラを外さないでください。

またパワーヘッドを分解してお掃除をされた場合には、保証の対象外となりますのでご注意ください。気になる埃はホームセンターなどで販売されている市販のエアーダスターを使用し吹き飛ばしてください。